

令和 5 年 6 月 県議会 議事録

令和 5 年 6 月 1 2 日 (月)

代表質問
自民党 県議団

企画・地域振興部 交通政策課
桐明和久 議員

三. 地域公共交通について

問 ② 地域公共交通計画の策定について

〔 県としても地域公共交通計画の策定が必要だと思うが、知事の考えをお聞かせ願う。 〕

(知事答弁)

地域公共交通計画の策定についてでございます。

市町村が計画を策定するに当たりましては、路線に係る市町村はもとより、場合によっては隣接県とも協議、調整を行う必要が生じまして、市町村にとってかなりの負担となりますため、一部の市町村では策定の目処が立っていないのが実情でございます。

加えまして、国は、令和 7 年度以降は、複数自治体にまたがる広域バス路線の赤字に対する国庫補助実施の要件といたしまして、来年 6 月末までに計画を策定することを求めています。広域バス路線上の市町村が一つでも未策定である場合、補助要件を満たさないとされておりますため、将来、補助を受けられない路線が発生するおそれがございます。

市長会、町村会、町村議長会からは、広域バス路線につきましては、複数の市町村にまたがる公共交通であるため、県が主体となって広域的な見地による計画を策定し、補助要件を満たすよう要望をされているところでございます。

こうしたことから、県といたしましては、引き続き、市町村による計画策定を促しますとともに、昨年 3 月に策定いたしました「福岡県交通ビジョン 2022」に九州運輸局と確認した所要事項を追加し、国庫補助要件を満たす「地域公共交通計画」として位置づけ、国庫補助を受けられるようにすることで市町村を支援してまいります。

今後、学識経験者、関係行政機関、交通事業者、そして県議会議員も参画いただきます「福岡県交通対策協議会」において検討を進めてまいります。